

英語活動指導案

指導学年 6 学年

I 単元名 市町村独自教材 6年 Lesson 10 夢を伝え合おう

II 題材の考察

1. 児童の実態（男子14名 女子12名 計26名）

〔コミュニケーションへの関心・意欲・態度〕

児童は1～4年まで週1時間の英語の授業を受けてきた。5年より、週2時間に授業時間が増え、英語への興味関心がさらに高まっている。

この学級の児童は授業に意欲的に取り組んでいる。ペアやグループでの会話活動、ゲームなどの活動を楽しみながら、英語でのやり取りをしている。

以下に、授業についてのアンケート結果を示す。（1名 欠席のため実施せず）

英語の授業は楽しいですかという問いに「とても楽しい・楽しい」24人、「楽しくない」1人答えている。楽しいと思う活動は、ゲーム21人、チャンツ10人、友達との会話・外国の生活や文化をDVDで見るそれぞれ9人、書く活動8人、グループ発表・ALTやT1との会話それぞれ5人、その他2人の順であった。（複数回答可）

授業に楽しく取り組んでいるが、それぞれの活動についての苦手意識があることがわかった。「言えない」「できない」を言えなかったができるようになったという成功体験を積むような工夫を授業でも積極的に作りたい。

「将来つきたい職業がある・方向性は決まっている」は23人、「決まっていない」2人であった。決まっている・方向性は決まっていると答えた児童は就きたい理由も答えられていた。その職業について本やインターネットで調べたり、その職業に就いている人に話を聞いたことがあると答えた児童は、21人、ないと答えた児童は4人であった。また、夢の実現のためにどんなことができるか考えたことがあると答えた児童は13人、ないと答えた児童は12人であった。

上記アンケートから、就きたい職業はあるものの、現在学んでいることが働くことにつながっているという意識を持っていない児童がいることが分かった。授業では、このつながりにも気付くことができるようにしたい。

〔外国語への慣れ親しみ〕

各単元では言い慣らしができたころから、クラスのみんなの前で発表することを取り入れている。自分の思いを英語で発表することに慣れてきた。間違っても、笑ったりせず、友達の発表を聞く態度が身に付きつつある。安心して発表できる雰囲気は、英語活動においても、外国語への親しみを高める大切な要素である。そういった意味では本学級の雰囲気は温かく、児童は安心して発表できるであろう。

〔言語や文化に関する気付き〕

本校の児童は、身の回りのごく簡単な単語を英語で言うことができる。どの児童も、日常生活の中で自然に使っている単語の中にたくさんの外来語があることを認識している。しかし、ALT 以外の外国人との接点が少ないので、本来の発音とのイントネーションが違っているために全然通じないということや、英語だと思っていたものが和製英語で、全く本来の単語とは違った単語に変化したものであったりすることは、それほど認識していない。

普段の授業において見慣れたカタカナ言葉を英語の発音にして言うだけでも、児童は英語の音声やイントネーションの面白さに気付きながら発音練習している。カタカナ英語であっても、英語を使って表現する楽しさを味わわせることで、英語を発音することを敬遠しがちな児童の気持ちを後押しできると思われる。また、少しでも異文化理解を深める活動を取り入れ、日常生活の中に使われている英語にも、気付かせるような働きかけをしていくことで、英語に自然に親しむような雰囲気作りをしていきたい。

2. 教材観

want を用いた表現は、低学年から親しんできているので、児童にとってはなじみがある。5年生 Lesson 7「あこがれの旅行」で、I want to go to ~.の不定詞を伴った表現を用いて、自分が行きたい国や、言ったらそこで見たいもの、食べたいものなどを発表しあう学習をした。また、普段の授業でも、I want to~.の表現を取り入れてきた。自分の願望を伝える便利な表現である。

6年生 Lesson 10「夢を伝え合おう」では、自分の夢を伝えたり、友達の夢を聞いたりなど、子どもたちにとっては大変楽しい活動を英語に取り入れることで、活発な学習を行うことが期待できる。口頭練習を十分に行い、今の生活が自分の夢に向かっている、キャリア形成をしている真っ只中にいるということを実感しながら、夢を伝え合うことができたという達成感を味わわせたい。

3. 系統及び関連等

5年 Lesson 7 あこがれの旅行

6年 Lesson 10 夢を伝え合おう

4. 単元の目標及び評価規準と評価項目

<目標>

- ・将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。(知能および技能)
- ・将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

評価の観点	評価規準	評価項目
-------	------	------

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・就きたい職業を尋ねたり答えたりするやり取りをしながら交流している。 ・相手に伝わるように、はっきりとした言い方や表情に気を付けて自分の夢を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就きたい職業を尋ねたり答えたりするやり取りをしながら交流することができる。 ・相手に伝わるように、はっきりとした言い方や表情に気を付けて自分の夢を紹介することができる。
イ 外国語への慣れ親しみ	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりすることができる。
ウ 言語や文化に関する気付き	<ul style="list-style-type: none"> ・職業の言い方が分かっている。 ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする言い方が分かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業の言い方が分かっている。 ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする言い方が分かっている。

5. 指導方針

○本単元は総合学習との関連を持たせている。1学期の自分のなりたい職業調べの内容を思い出し、もう一度じっくりと考える学習にしたい。なりたい職業を英語で言うだけでなく、そこに児童の思いや希望を乗せた会話や発表の機会を持つようにする。

○「つかむ」過程では、事前に準備したワークシートや絵カードにない職業になりたい児童には、個別にその言葉を伝えたい。

○「追究する」過程では、デモンストレーションの場面で JTE と ALT がどんな内容を話しているのか十分に聞かせ、類推させる。JTE と ALT は自分の夢を言うときに、児童が聞き取れない場合には徐々にゆっくり言う。また、児童が理解しやすい板書になるよう、キーワードは目立つようにするなど工夫する。さらに、学習内容習得の徹底を図り、自分のことを表現する活動への基礎・基本を定着させる。

○「まとめる」過程では、自分が就きたい職業とその理由、その夢の実現のためにできることを発表し合う場面で、自分の思いを相手に伝わるように工夫させる。また、友達の発表の良さを学ぶことができるように声かけする。お互いの発表から、将来の夢や希望を持ち、その実現に向けて努力することをすでに始めていることに気付かせたい。そして日々の学習や学校生活がすべて「学び」であり、それは「働くこと」に密接に関係していることに気付かせたい。

6. 指導と評価の計画（全7時間予定、本時は5／7時間目）

※□は、本時に関わる学習活動及び支援

過程	時間	ねらい ○児童のめあて	学習活動	指導上の留意点や支援 ☆キャリア教育の視点	評価の観点			評価方法
					コ	慣	気	
つかむ	1	職業を表す語を聞いて分かる。 ○いろいろな職業は英語ではど	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の見通し「将来の夢のたずね方や答え方を知り、夢宣言をしよう」を知る。 ・Small Talk 「行きたい国と 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の見通しを持つことで、意欲を持って本単元に取り組めるようにする。 ・英語の発音に慣れ親しませる。 		○	○	ワークシート・

		<p>のようにいうのでしょうか。</p>	<p>その理由」を言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Watch and Think 1(p58,59)を視聴し、登場人物についての Q&A を行う。 ・ ジェスチャーゲームをして職業の言い方に慣れ親しむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲームをして職業の言い方に慣れ親しむ。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ アリゲーターゲームを通してさらに職業の言い方に慣れ親しむ。 ・ ワークシートの例を参考に職業を書き写す。自分のなりた職業がない場合は日本語で書いておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初はゆっくり、慣れてきたらテンポよく言うよう促す。 ・ 聞くことに慣れさせてから、自分の言えるところから繰り返させる。 <p>☆自分のなりた職業を意識させるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丁寧になぞるよう促す。 				観察
追究する	1	<p>職業についてまとまった話を聞いて理解したり、就きたい職業を言ったりすることができる。</p> <p>○英語では、どのようにつきたい職業をたずねたりこたえたりするのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk 「行きたい国とその理由」を言う。 ・ Let's Chant What do you want to be?を行う。 ・ Let's Watch and Think 2(p60)を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業についてまとまった話を聞いて理解し分かったことを書いている。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生の夢を知ろう。 ・ 自分のなりた職業とその理由を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目は聞かせる。2回目は言えそうな英語を言ってみる。 ・ 音声を聞かせる前に予想させる。 <p>・ T1 と ALT が 6 年生になりきり、なりた職業とその理由を言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回のプリントで自分のなりた職業を確認する。☆自分の夢だけでなく、友達のを知ること、一人ひとり社会の役割を担うことに気付かせる。 ・ ペアを変えながら紹介する。 		○	ワークシート・観察	

2	<p>将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由が分かる。</p> <p>就きたい職業とその理由について伝え合う。</p> <p>○英語ではどのように、将来つきたい職業や理由を言うのでしょうか。</p>	<p>・ Small Talk : 就きたい職業とその理由をペアで言う。</p> <p>・ Let's Chant What do you want to be?を行う。</p> <p>・ Let's Watch and Think 3(p60)を視聴し分かったことを紙面表に記入する。</p> <p>・ 将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由を書く。</p> <p>・ Let's Talk どんな職業に就きたいか、友達に尋ねたり答えたりする。</p>	<p>・ 最初は聞かせ、どのような言葉が聞こえたかを確認する。2回目は聞こえた言葉を中心に歌う。</p> <p>・ 映像教材に問いかける形で、児童とのやり取りとし、その後児童どうしでやり取りさせる。</p> <p>☆自分の夢だけでなく、友達の夢を知ることで、一人ひとり社会の役割を担うことに気付かせる。</p>	○	ワークシート・観察
3	<p>得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて伝え合う。</p> <p>○自分のことを伝えるために、どのような工夫をしますか。</p>	<p>・ Let's Chant What do you want to be?を行う。</p> <p>・ Let's Listen (p61)をする。</p> <p>・ 3 ヒントカルタをすすめる。</p> <p>・ Let's Talk をする。① T1/ALT の紹介を聞く。②児童同士で行う。</p> <p>・ Let's Read and Write2 をする。</p>	<p>・ 登場人物がどんな夢をもっているか予想させる。</p> <p>S: What do you want to be?</p> <p>T1/ALT: I like~. I can~. I'm good at~.のすべてのり理由を聞いてからカルタをとる。</p> <p>☆自分の長所や得意なことに気付かせ、表現できるようにする。</p>	○	ワークシート・観察
4 本時	<p>就きたい職業について、理由を含め伝え合う。</p> <p>就きたい職業について、理由を含め伝え合おうとする。</p> <p>○つきたい職業をたずねたり答えたりする時</p>	<p>・ Small Talk : なりたい職業とその理由を言う。</p> <p>・ Let's Chant What do you want to be?を行う</p> <p>・ T1 と ALT の夢をもっと詳しく知る。</p> <p>・ 夢の実現のためにがんばっていること、がんばりたいことを言う。</p> <p>・ Activity(p61)に取り組</p>	<p>・ I want to study ~. や I want to ...well.を用いることでその実現に向けての努力を言い表すことができる。</p>	○	ワークシート・観察

		に、お互いの思いを伝え合うためにどのようなふうをしますか。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">む。どんな職業につきたいか尋ね合う。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Read and Write2 をする。 ・ Sounds and Letters① (K/k) 	<ul style="list-style-type: none"> ☆自分の夢と自分のなりたい気持ちがいしっかりと結びつくように、自分の夢の実現を実際のものとして感じられるように問いかける。 また、今学校で学んでいることが将来働くことと密接につながっていることに気づかせる。 				
	5	<p>例を参考にし、自分の夢について書く。</p> <p>○自分の夢について、正しく書く4つのポイントは何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Read and Write1 (p62)をするに取り組む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Read 班の中でスピーチ原稿を回し読みする。その後発表練習をする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ Sounds and Letters① (th) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループで協力し合いながら取り組む。発表はグループごとに行うので、チームワークを大切にしよう伝える。 ☆友達の原稿を読み、グループで協力しながら、よりより発表を目指す。 			○	ワークシート・観察
まとめ	1	<p>将来の夢について発表する。</p> <p>○自分の夢を発表したり、友達の夢を聞いたとき、どんなことに気づけますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Talk をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに発表する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Watch and Think 4(p64)に取り組む。 STORY TIME(p65)をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆友達の夢や理由、気持ちを聞き取り、自分の考えも積極的に伝える。 	○			ワークシート・観察

III 本時の学習

1. 題材名 玉村町外国語活動学年別計画 6年 Lesson 10 夢を伝え合おう

2. 本時の学習

(1) ねらい 5/7 就きたい職業について、理由を含め伝え合うことができる。

キャリア教育との関わり [キャリアプランニング能力]

将来の夢や希望をもち、その実現に向けてすでに努力をしていることや、これから努力していきたいことに目を向け、学ぶことと働くことの密接な関係性に気づかせたい。

(2) 語彙 What do you want to be? I want to be a vet. Why? (Because) I like animals. I can play the piano well. I am good at playing the piano. Good luck. 職業(artist, astronaut, baker, bus driver, comedian, dentist, farmer, etc.)

(3) 準備 職業の絵カード (掲示用)、ターゲットセンテンスカード、書き取り用紙、Sounds and Letters シート、振り返りシート、電子黒板、タブレット

(4) 展開

過程	主な学習活動 予想される児童の反応	時間	JTE の役割と支援 ◎十分満足の児童へ △概ね満足に達しない児童へ 評価規準● 評価方法■ ☆キャリア教育の視点	ALT の役割と支援 ◎十分満足の児童へ △概ね満足に達しない児童へ
つかむ	①あいさつをする。	5	・日にち、天気を板書する。 ・曜日のスペルの確認をする。	・元気よく、明るい雰囲気であいさつする。 ・月と天気のスペルの確認をする。
	②Small Talk (なりたい職業とその理由) をする。		・デモンストレーションをする。 ・一人の児童と対話する。	・デモンストレーションをする。 ・一人の児童と対話する。
	③【Let's Chant】 What do you want to be? をする。		・リズムにのって楽しく練習する姿を見せる。	・リズムにのって楽しく練習する姿を見せる。
	④本時のめあてを知る。			
<p>つきたい職業をたずねたり答えたりする時に、<u>お互いの思い</u>を伝え合うためにどのようなくふうをしますか。(下線部は空欄にしておく。)</p>				
追究する	⑤先生の夢をもっと知る。	35	・デモンストレーションする。(写真やジェスチャー) <i>JTE</i> : I want to be a café owner. I like coffee and cakes. I am good at cooking. I want to study	・デモンストレーションする。(写真やジェスチャー) <i>ALT</i> : Oh, a café owner! That's nice.....I want to be an artist. I like art. I am good at drawing pictures.

		<p>home economics hard. How about you, Joanna? What do you want to be? (S1 ~)What do you want to be? Why?</p> <p>・児童とのやり取りから、「理由」と「そのために努力していること、努力したいこと」に焦点を当て、児童が伝えたいと思っている表現について、全体で学び合えるようにする。</p> <p>☆自分の夢と自分のなりたい気持ちがしっかりと結びつくように、前時の I like~.や I am good at~.表現を用いることで自分の夢の実現を実際のものとして感じられるように問いかける。また、今学校で学んでいることが将来働くことと密接につながっていることに気付かせる。</p>	<p>I want to study art and crafts hard. (S2 ~) What do you want to be? Why?</p>
	<p>⑥Activity(p.61)に取り組む。</p> <p>S3: Hi, S4. What do you want to be?</p> <p>S4: Hello, S3. I want to be a bus driver.</p> <p>S3: Sounds good. Why?</p> <p>S4: I want to go to many places. So, I want to speak English well.</p> <p>S3: I see.</p> <p>S4: What do you want to be?</p> <p>S3: I want to be a nurse.</p> <p>S4: Great. Why?</p>	<p>・ 1～2 ペアのやりとりをピックアップする。よかった点を全体で共有し、再度ペアを変えて活動させる。つまずきがあった場合はどうすればよいかを考える機会とする。</p>	<p>・ 児童からのよかった点と合わせて、さらによくするポイントをアドバイスする。</p>

●コミュニケーションへの関心・意欲・態度
■観察・ワークシート
就きたい職業について、理由を含め伝え合えたか。

[キャリアプランニング能力]
将来の夢の実現に向けて、今がんばりたいことが何かを考えることができる。

	<p>S3: I want to help sick people. I want to study science hard. S4: That's nice! Good luck! S3: Good luck, too!</p>			
	<p>⑦Let's Read and Write 2③p64 音声を聞きながら読んだ(言った)あと、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆっくりのペースで流す。 	
	<p>⑧Sounds and Letters ① (sh) ・ ジングルを聞く。 ・ K と k の音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ ワークシートの4線の上に K と k の文字を書く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ ALT の K/k の口をまねる姿を児童に見せる。 ・ サウンドテニスをデモンストレーションする。 ・ 手本を見せ、全体で確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ K と k の口を見せる。 ・ サウンドテニスをデモンストレーションする。
ま と め る	<p>⑨まとめをする。 今日のめあてをもう一度確認する。</p> <p>「I want to be a～. で伝える。」 「I like～. I am good at～. など伝える。」</p> <p>「自分の夢を伝えるため」「自分の気持ちを伝えるため」 「理由を言うときは好きなこと得意なことを言う」とわかりやすい。「理由</p>	5	<p>「つきたい職業をたずねたり答えたりする時に () どのようなくふうをしますか。」 「なりたい職業を言うときは何と言いますか。」 「その理由を言うときは何と言いますか。」</p> <p>「めあてのカッコにはどんな言葉が入ると思いますか。」 「理由を言うときどんな思いが相手に伝わりますか。」 ・ ALT に理由を聞くとどん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ターゲットセンテンスがすぐに出てこない場合は、ALT の後について確認させる。 (I want to be～. I like～. I am good at～. など) ・ 理由を聞く夢への強い思いが伝わると話す。

<p>を言うと、なりたい気持ち強いことが伝わる。」</p> <p>「好きなことと自分の夢はつながっている。」</p> <p>「夢の実現のために、自分ががんばりたいことに気づけた。」</p> <p>「今学校でしている勉強が自分の将来の夢につながっていることがわかったから、がんばりたい。」</p> <p>①終わりのあいさつ</p>	<p>な印象を持つか質問する。</p> <p>「今日の学習を通して気づいたことは何ですか。」</p> <p>・日々の学習や学校生活がすべて「学び」であり、それは「働くこと」に密接に関連していることに気付かせたい。</p> <p>活発な活動を賞賛する。</p>	<p>活発な活動を賞賛する。</p>
--	---	--------------------

板書計画

<p>Thursday, November 15th sunny</p>	
<p>単元の見通し 将来の夢のたずね方や答え方を知り、夢宣言をしよう。</p>	
<p>めあて つきたい職業をたずねたり答えたりする時に (お互いの思いを伝え合うため)</p>	
<p>どのようなくふうをしますか。</p>	
<p>Q: What do you want to be?</p> <p>A: I want to be a café owner.</p>	<p>Q: Why?</p> <p>A: I like coffee and cakes.</p> <p>I am good at cooking.</p> <p>I want to study home economics hard.</p>
<p>まとめ I want to study ~ hard. を使うとがんばりたいことが言える。</p>	
<p>ふりかえり 今日の学習で気づいたことや学んだことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由を言うときは好きなこと得意なことを言うとうわかりやすい。 ・理由を言うと、なりたい気持ち強いことが伝わる。 ・好きなことと自分の夢はつながっている。 ・今学校でしている勉強が自分の将来の夢につながっていることがわかったから、がんばりたい。 	